

狛江市民センター改修について

令和4年5月29日 狛江市民センター改修基本構想（案）中間報告会



名 称：狛江市民センター

施設構成：公民館・図書館

開館年月：昭和52年11月

施設規模：

公民館	1,591m ²
図書館	707m ²
共用部	1,394m ²
合 計	3,692m ²

改修等にあたっての基本的な考え方

- (1) 財政負担の抑制**
- (2) 公民館機能及び図書館機能の充実**
- (3) 人生100年時代に向けた生涯学習
と市民活動の連携**
- (4) 将来に向けて**

市民センター改修等基本方針について①

(1) 市民センター

- ▽老朽化対応・公民館スペースのリノベーション
- ▽図書館機能縮小
- ▽市民活動支援センターを移転

(2) 新図書館

- ▽商工会・駄倉地区センター解体
- ▽新図書館整備

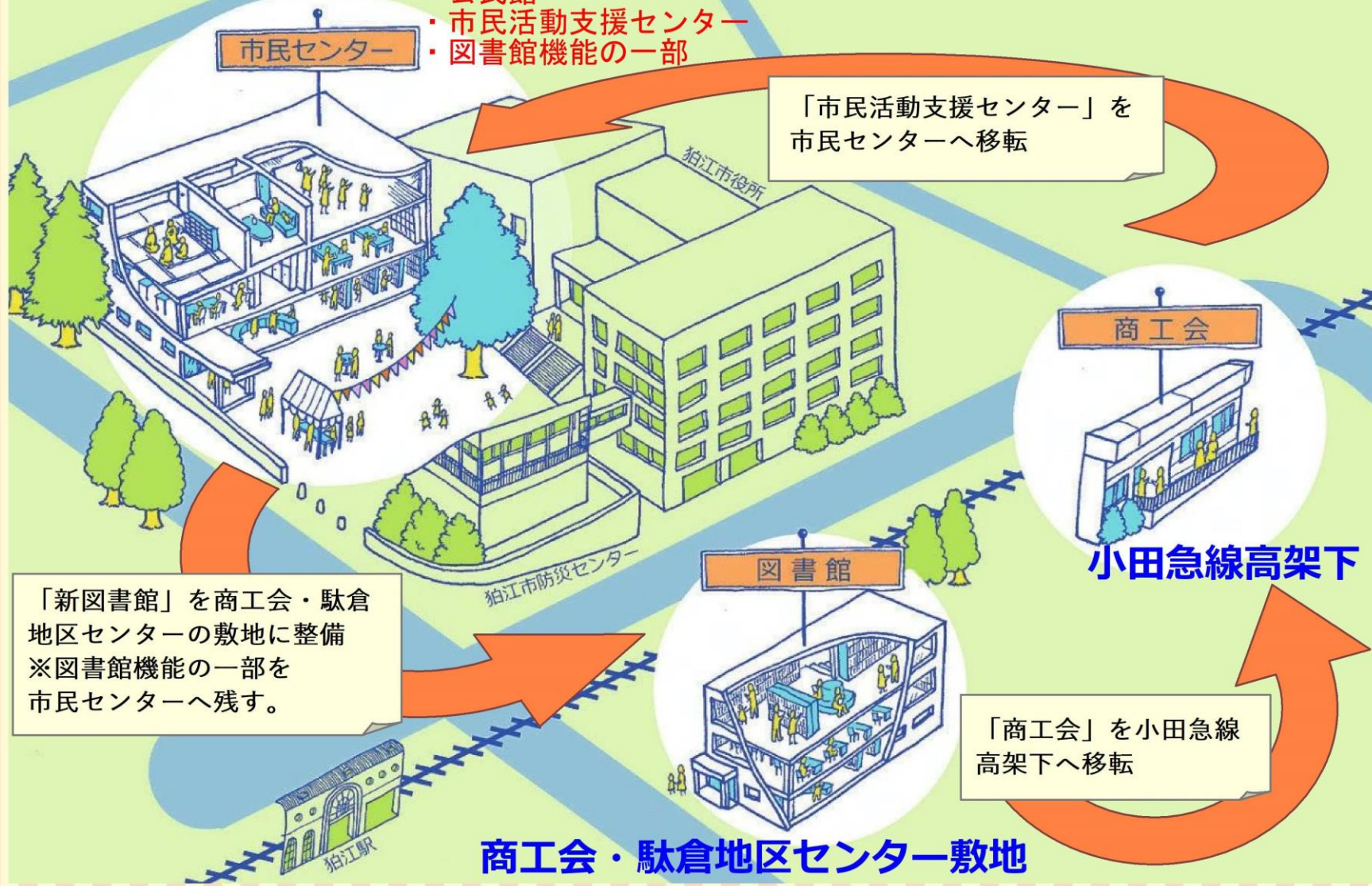
(3) 商工会等

- ▽商工会を高架下に移転
- ▽駄倉地区センター閉所

市民センター改修等基本方針について②

※イラストはイメージであり、現状の施設の規模や将来の施設の規模等とは異なります。

- ・ 公民館
- ・ 市民活動支援センター
- ・ 図書館機能の一部



基本構想の策定に向けて①

狛江市では、基本方針に基づく市民センター改修のため、市民の意見を聞きながら、基本構想の策定を進めています。

①ワークショップ（令和3年7月～）

…全7回にわたり、各回のテーマに沿ってワークショップを実施

②市民Webアンケート（令和3年8～9月）

…市民センター・市民活動支援センターの利用状況等に関するアンケート

③利用団体アンケート（令和3年9～10月）

…公民館の利用団体に向けた活動状況等に関するアンケート

基本構想の策定に向けて②

- ④こまえくぼアンケート（令和3年9～10月）
…市民活動支援センターの利用状況等に関するアンケート
- ⑤利用状況調査
…平成31年度・令和2年度を対象とした、市民センターの利用状況に関する調査
- ⑥その他
…小中高生ワークショップ（令和4年3月）、福祉関連団体ヒアリング

ワークショップの進捗状況

	回数	日付	テーマ
済	第1回	7月11日 (日)10:00	狛江のじまん・ふまん ~より良くしたい!改善したい!~
済	第2回	10月31日 (日)10:00	意見交換
済	第3回	12月12日 (日)9:30	新しい市民センターに 必要な設備・機能を考えよう!
済	第4回	3月27日 (日)9:30	部屋の配置・部屋の面積を考えよう
済	第5回 (新図書館WSと の合同WS)	4月10日 (日)10:00	新しい市民センター図書コーナーの 機能・配置・面積を考えよう
済	第6回	5月15日 (日)9:30	ブロックプランを考えよう
	第7回	6月12日 (予定)	市民センター改修基本構想 (案)

※ワークショップの内容は、市ホームページや「かわら版」等でご確認いただけます。

第1回ワークショップの主なご意見

第1回	必要なスペース	
	<ul style="list-style-type: none">・ フリースペース・ 飲食できるスペース・ 子ども用のスペース・ 防音・音響設備のある部屋・ 学習スペース・ 多目的につかえる活動スペース	
	ソフト面で改善したいこと	ハード面で改善したいこと
	<ul style="list-style-type: none">・ IT・ネット環境の充実・ 貸し室の予約システム・ 居場所・コミュニティ・ 学びの機会・講座・ 職員・事務室・ 運営面の改善	<ul style="list-style-type: none">・ トイレの改善・ バリアフリー化・ 料理実習室の改善・ 図書館スペースの確保、一体整備・ 備品更新・ 自然が足りない・ スペースが足りない・ 環境配慮

第2回ワークショップの主なご意見

第2回ワークショップは意見や質問が中心となり、グループワークの実施に至りませんでした。主に以下のご意見をいただきました。

- 基礎調査結果に関して
- 図書館検討スケジュールとの関係
- ワークショップの手法に関して
- 市民センターのコンセプトに関して

第3回ワークショップの主なご意見

新しい市民センターに必要な機能・スペース(施設全体に関して)

第3回

- IT・ネット環境の充実
- 屋外の活用
- 市民ひろばとの回遊性
- 貸出区分の見直し(3区分→4区分)
- 交流、飲食ができる機能
- 子ども・親子連れが利用しやすい
- 自習・ワークスペース・コワーキングスペース
- オープンな事務室、気軽に話せるスタッフ
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン
- 環境配慮
- トイレの改修
- コミュニティスペース
- 他公共施設との連携

第4回ワークショップの主なご意見

新しい市民センターに設けたいエリアのアイデア			
第4回	グループ①	社会教育エリア	会議室/視聴覚室/防音室/理科実験ができる部屋 料理実習室/講座室/ホール/和室/美術工芸室など
		市民交流エリア	テラスの活用/フリースペース/交流スペース/自習スペース 親子・子どもが遊べるスペース 保育室/授乳・オムツ替えのスペース
		市民活動エリア	市民活動支援センター機能/団体活動室
	グループ②	防音重視・イベントエリア	講座室/視聴覚室/ホール/防音室/美術工芸室 ミニコンサートスペースなど
		誰でもエリア	交流スペース/展示スペース/コミュニティスペース 親子・子どもが遊べるスペース/市民活動センター機能など
		静かな学習エリア	社会教育、学習機能/コワーキングスペース/料理実習室 カフェ喫茶スペース/会議室/自習スペース/和室など
	グループ③	活動エリア	防音室、視聴覚室など/テラスを活用できるスペース キッチン&飲食スペース/コミュニティスペース
		ブックカフェ・交流・ コミュニティエリア	市民活動支援センター機能/カフェ/フリースペース/閲覧室 フロア全体を図書館スペースに
		貸出諸室エリア	多目的室/会議室/ホールなど

第5回（合同）ワークショップの主なご意見

	市民センター図書コーナーの機能・配置・面積	理由
第5回（合同）	<ul style="list-style-type: none"> 子ども図書館/子育て世代中心/子ども用の本のスペースと読み聞かせスペース 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと気軽に利用したい/子どもの本を増やしたい/市民センターとの相乗効果
	<ul style="list-style-type: none"> ゆったり滞在型/新聞雑誌コーナー/フリースペース/イベントスペース/ブックカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代が交流できる機会が必要/市民センターの交流機能を活かす
	<ul style="list-style-type: none"> 狛江のコーナー/水害など防災の情報を流す 	<ul style="list-style-type: none"> 狛江を知ってもらいたい/様々な目的で訪れる人がいる
	<ul style="list-style-type: none"> 電子書籍を充実/PCで電子書籍を 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策/省スペース化/シニア層・障がい者にもやさしい
	<ul style="list-style-type: none"> 予約・受取り等/専門スタッフは置かない 	<ul style="list-style-type: none"> 図書コーナーは限定的でよい
	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動支援センター等と一体化 	<ul style="list-style-type: none"> スペースの有効活用

施設の利用状況について①

課題①：予約が混んでいるため、部屋を確保しにくい

課題②：共用部でゆっくり過ごせない（施設が暗く、閉鎖的である）

課題③：活動で利用できる時間枠を使い切れていない

課題④：用途に合った部屋が足りないため、別の部屋を使っている



解決案①：利用区分を分割して、利用（予約）枠を増やす

解決案②：利用状況の分析結果から需要の多い部屋を増やす

解決案③：開放的でゆとりのある共用部分をつくる

施設の利用状況について②

◎（参考）利用時間区分と活動時間の分析

平成 30 年度のデータ (コロナ前の状況での分析)		第一 会議室	第二 会議室	第三 会議室	第四 会議室	視聴覚室	ホール
午前 (9時～12時) 180分	区分内の活動時間 (平均)	141.7分	142.4分	133.3分	163.5分	152.2分	156.6分
	区分内の活動時間 /午前の区分	78.7%	79.1%	74.1%	90.8%	84.6%	87.0%
午後 (13時～17時) 240分	区分内の活動時間 (平均)	205.7分	171.7分	187.4分	192.2分	170.5分	197.1分
	区分内の活動時間 /午後の区分	85.7%	71.5%	78.1%	80.1%	71.0%	82.1%
夜間 (18時～ 21時30分) 210分	区分内の活動時間 (平均)	137.9分	143.6分	129.2分	153.1分	155.4分	166.0分
	区分内の活動時間 /夜間の区分	65.7%	68.4%	61.5%	72.9%	74.0%	79.1%

- ・統計上、現状の区分の時間枠を時間いっぱい使う団体は多くない。
- ・3時間以上使える時間設定でも約8割は平均3時間（180分）を下回る活動時間となっている。

施設の利用状況について③

部屋の利用傾向

	利用件数	割合	順位
会議・集会・教養	3,626 件	51.8%	1 位
演劇・舞踊	1,665 件	23.8%	2 位
音楽	802 件	11.5%	3 位
工芸	275 件	3.9%	
調理	105 件	1.5%	
保育	110 件	1.6%	
その他	413 件	5.9%	

・「会議・集会・教養」が 50% 超えて、一番多く使われている。
・続いて、「演劇・舞踊」「音楽」の割合が多い。

施設の利用状況について④

◎ 第四会議室・講座室

- ・本来用途の「会議・教養」以外に「演劇・舞踊」でも利用されている。
- ・比較的面积が広いため「演劇・舞踊」で利用されていると推察できる。

	音楽	演劇・舞踊	会議・教養	工芸	調理	保育	その他	計	利用率
第四会議室	56	297	347	0	0	0	19	719 件	79.0%
	7.8%	41.3%	48.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%		
講座室	28	191	407	0	0	0	57	683 件	75.1%
	4.1%	28.0%	59.6%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%		

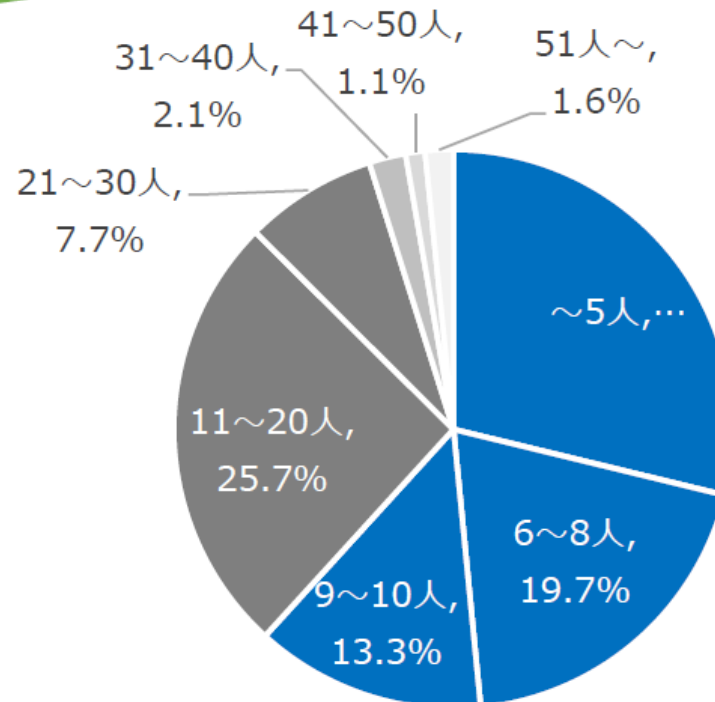
施設の利用状況について⑤

利用人数

【利用人数の傾向】

		利用件数	割合	
～10人	～5人	2,085件	28.8%	61.8%
	6～8人	1,423件	19.7%	
	9～10人	964件	13.3%	
11～20人		1,860件	25.7%	
21～30人		555件	7.7%	
31～40人		154件	2.1%	
41～50人		81件	1.1%	
51人～		118件	1.6%	

- ・「5人以下」の利用が1/4以上を占めている。
- ・「8人以下」の利用が約半分を占めている。
- ・定員より少ない人数で利用していることが多い。



5人以下が
1/4以上

8人以下が
約半分

施設の利用状況について⑥

- ◆**解決案①：利用区分を分割して、利用（予約）枠を増やす**
 - ⇒利用区分を3区分から4区分に変更することで、利用枠が約30%増える

- ◆**解決案②：利用状況の分析結果から需要の多い部屋を増やす**
 - ⇒「会議・教養」による会議室の需要が多く、専用用途の部屋でも同様の活動が行われている
 - ⇒音楽や演劇の利用が多い視聴覚室は利用率が高く、第四会議室も同様の用途で使われている
 - 音楽や演劇等で利用する部屋を増やす**

 - ⇒5人以下、8人以下の少ない人数で利用されているケースも多い
 - 利用件数の多い会議等で人数に合った部屋を増やす**

- ◆**解決案③：開放的でゆとりのある共用部分をつくる**
 - ⇒いつでも誰でも立ち寄れて交流できる場を創出する

現状と改修案の比較（会議等・音を出す部屋）

現状				
用途	部屋名	面積 (㎡)	部屋数	利用枠数 (現状3枠)
会議等の部屋	講座室	127	1	900
	第一会議室	36	1	900
	第二会議室	40	1	900
	第三会議室	43	1	900
	第四会議室	114	1	900
音を出す部屋	ホール	239	1	900
	視聴覚室	117	1	900
計		716	7	6,300

改修A・B案					
用途	部屋名	面積 (㎡)	部屋数	利用枠数 (現状3枠)	利用枠数 (想定4枠)
会議等の部屋	多目的室 (大) ①	111	1	900	1,200
	多目的室 (大) ② (中1)	43	1	900	1,200
	多目的室 (大) ② (中2)	43	1	700	1,000
	多目的室 (中)	40	1	900	1,200
	多目的室 (小) ①	20	1	900	1,200
	多目的室 (小) ②	16	1	900	1,200
音を出す部屋	多目的ホール (分割1)	164	1	900	1,200
	多目的ホール (分割2)	75	1	800	1,100
	パフォーマンススタジオ (大) 防音	117	1	900	1,200
	パフォーマンススタジオ (中) 防音	76	1	900	1,200
	サウンドスタジオ 防音	45	1	900	1,200
計		750	11	9,600	12,900

※利用枠数（年間）は3区分：900枠、4区分：1,200枠と仮定する。

※多目的室（大）②は、200枠分を1室としての利用を想定し、（中2）で枠数を調整している。

※多目的ホールは、100枠分を1室としての利用を想定し、（分割2）で枠数を調整している。

ブロックプラン（案）について

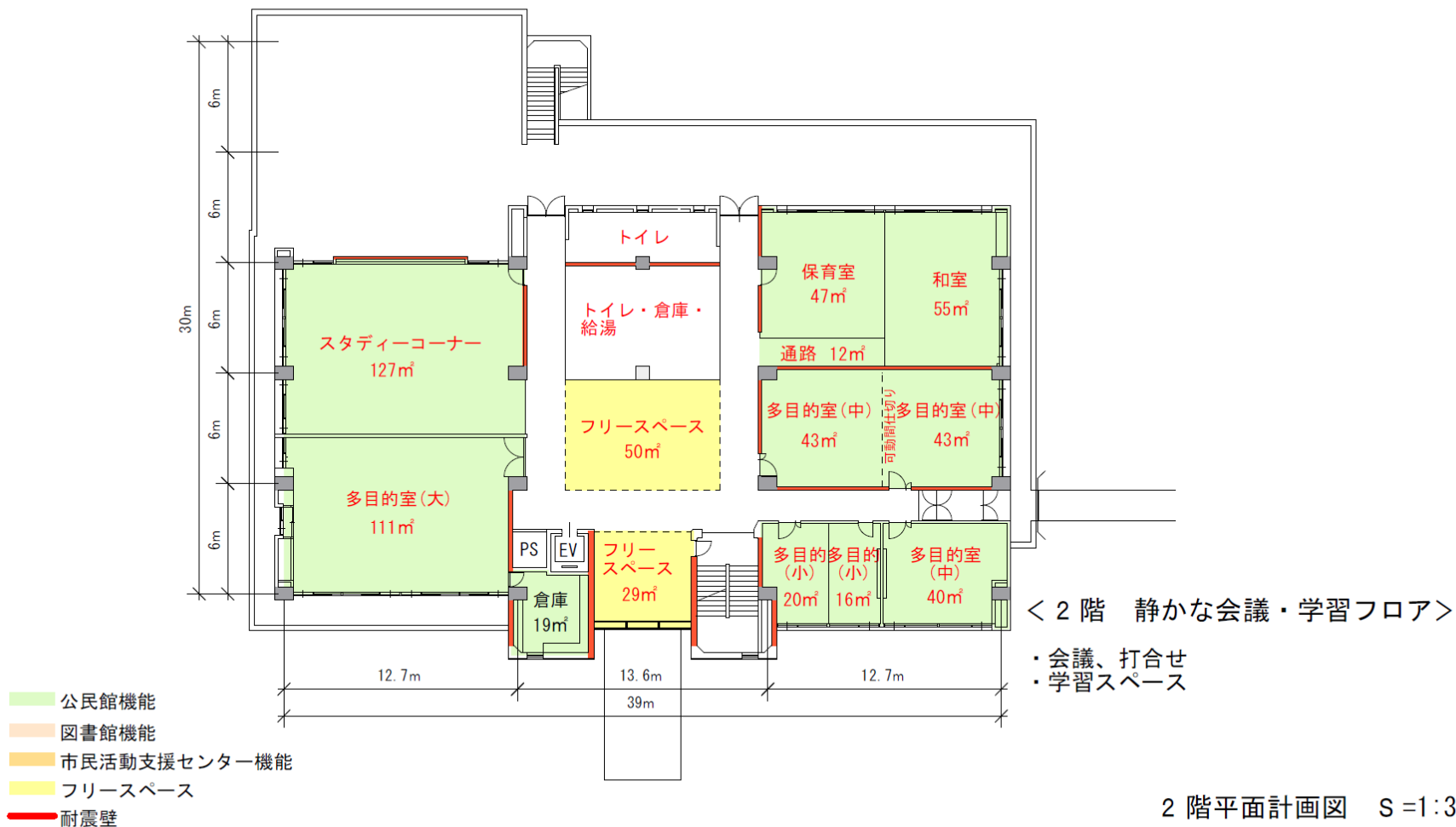
お手元に、改修ブロックプラン（案）を配付しています。

今までのワークショップ、市民アンケートなどでのご意見をふまえ、**1階のプランは2案（A案・B案）作成**しています。

現状のプランとの比較にご使用ください。

改修計画（検討案）

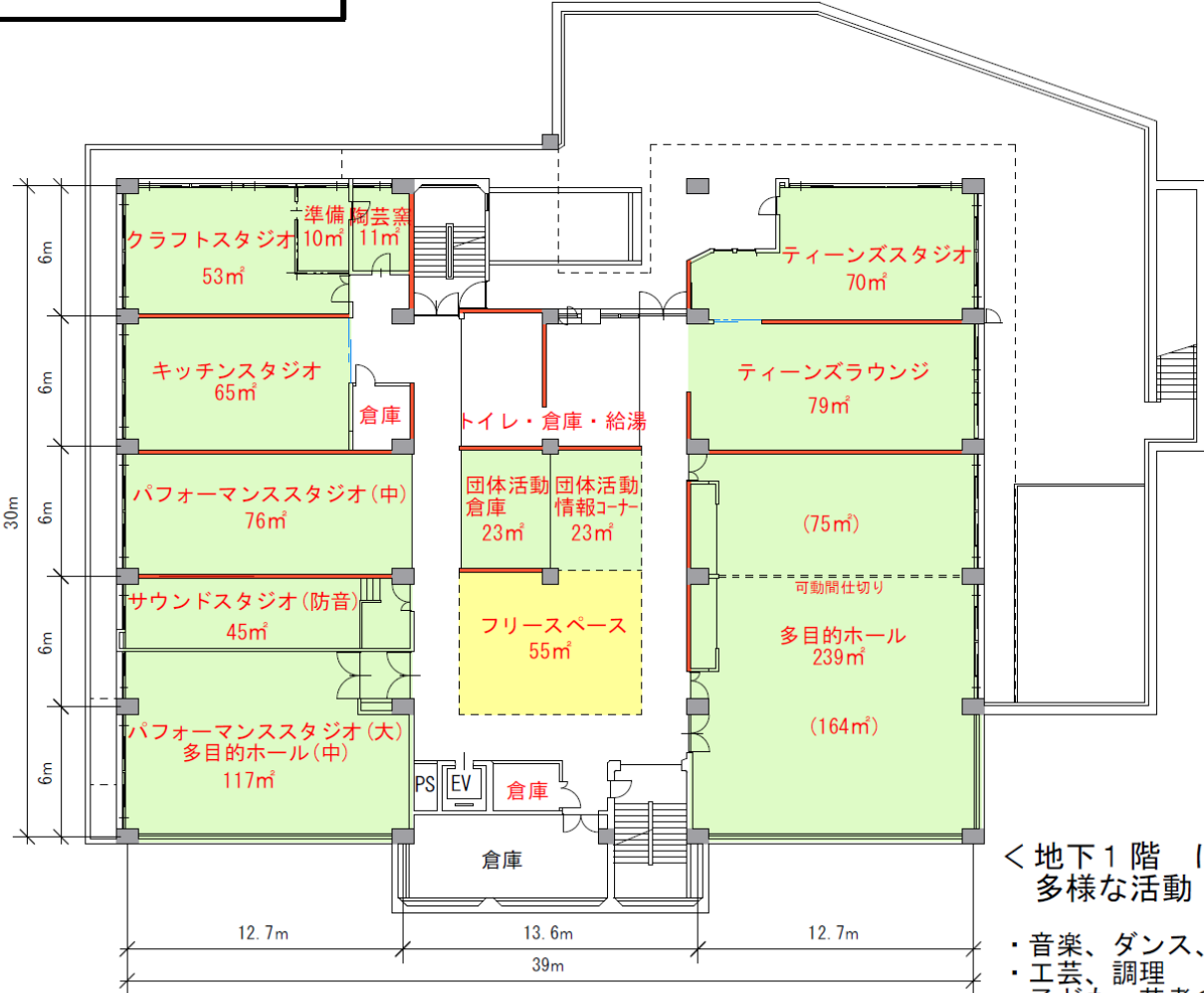
2階



※面積等は設計段階での詳細検討により変更する場合があります

地下1階

改修計画（検討案）



<地下1階 にぎやかで
多様な活動・イベントフロア>

- ・音楽、ダンス、講演
- ・工芸、調理
- ・子ども、若者の居場所

- 公民館機能
- 図書館機能
- 市民活動支援センター機能
- フリースペース
- 耐震壁

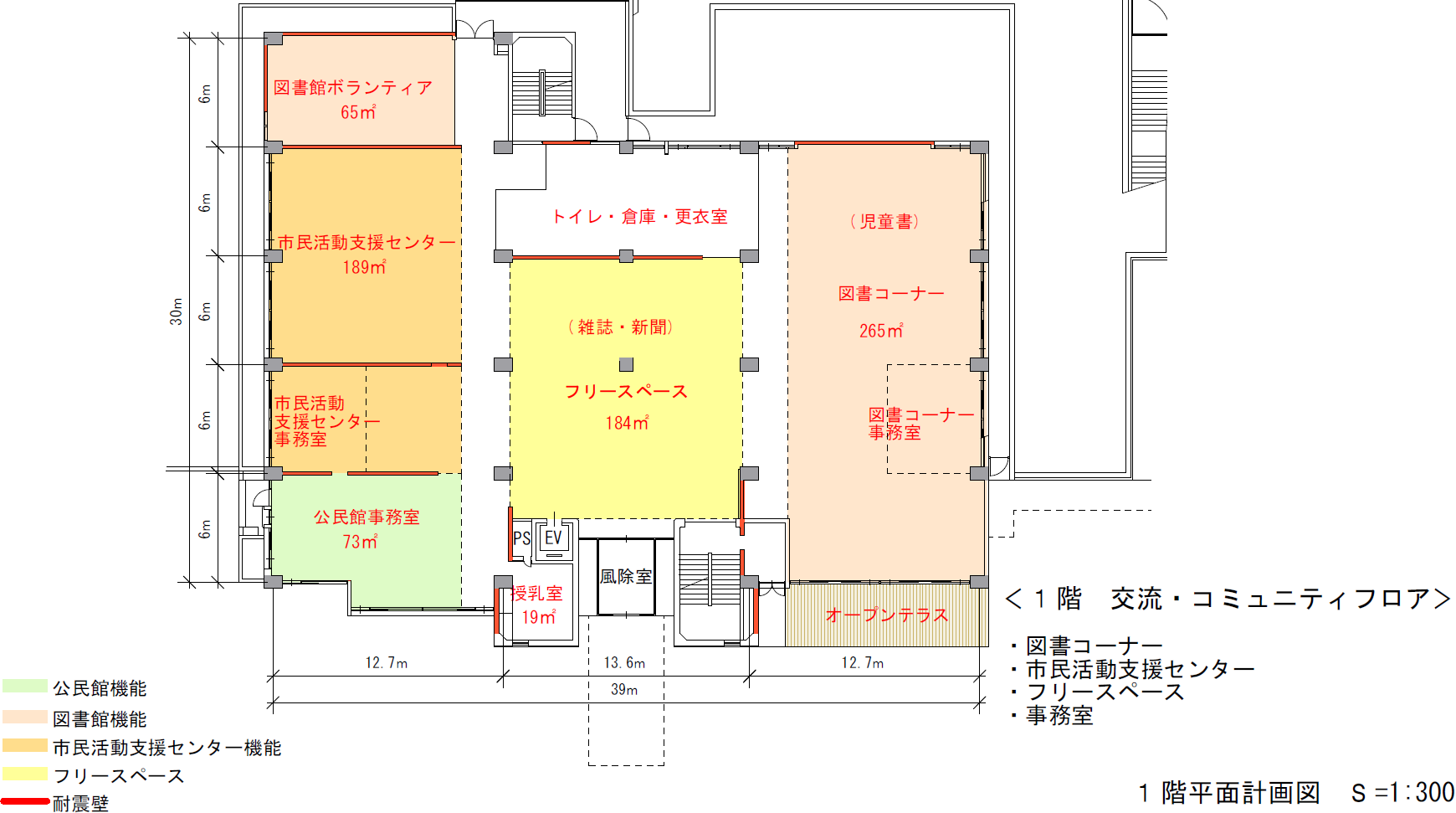
地下1階平面図 S=1:300

※面積等は設計段階での詳細検討により変更する場合があります

1階A案

改修計画（検討案）

1階A案



1階平面計画図 S=1:300

※面積等は設計段階での詳細検討により変更する場合があります

第6回ワークショップの主なご意見①

	階数	部屋名	ご意見
第6回	2階	・多目的室(大)	・講座室は縮小せず、名称もそのまま残す
		・多目的室(中)	・100㎡程度の部屋を残す ・可動間仕切りは反対
		・多目的室(小)	・部屋を分けると使いづらい
		・スタディーコーナー	・いいね! ・いつでも自由に使える、フリースペースとする ・入口の扉は取り払う ・部屋数確保のため別の建物に
		・保育室	・図書コーナーの一部とする
		・屋外テラス	・テラスの活用、テント屋根の設置
	地下1階	・多目的ホール	・ホールの間仕切りはしない
		・ティーンズラウンジ	・平日午前の活用方法→乳幼児連れの保護者ラウンジにする ・図書館ボランティア室と入れ替え ・入りやすい設えにする
		・ティーンズスタジオ	・フリースペースとする ・キッチンスタジオと入れ替え
		・キッチンスタジオ	・明るい場所に食事スペースを確保 ・ティーンズスタジオと入れ替え ・作ったものを食べるスペースが同じフロアに必要
・団体活動情報コーナー		・倉庫の充実、フリーコーナーの活用	

※「いいね!」：特に良くなった箇所には、図面にイネシールを貼ってもらいました。

第6回ワークショップの主なご意見②

	階数	部屋名	ご意見
第6回	1階 A案	• 図書コーナー	• いいね！ • 事務室はカウンターとする
		• 市民活動支援センター	• 市民活動支援センターとのコラボレーションを重視
		• オープンテラス	• 屋根付きとする
		• フリースペース	• いいね！
	1階 B案	• 市民活動支援センター	• いいね！ • フリースペースと分割しない • 別の場所に移転させる
		• 図書館ボランティア 対面朗読室	• 保育室にする • ティーンズスタジオと交換
		• フリースペース	• いいね！ • オープンカフェを設けたい
		• 総合事務室	• いいね！×2 • 施設間の相互利用 • 総合事務室は良い • 事務室はオープンに
		• オープンテラス	• いいね！ • 飲食可能、テイクアウトを利用 • 外からも入れる
		• トイレ・倉庫	• いいね！

今後のスケジュール

施設		R2	R3	R4	R5	R6	R7
方針	基本方針案決定	■					
	市民説明会		■				
市民センター	市民センター改修基本構想		■	■	■		
	市民センター改修工事基本設計			■	■	■	
	市民センター改修工事实施設計				■	■	■
	市民センター改修工事				■	■	■
	中央公民館休館				■	■	■
	中央図書館休館				■	■	■
	市民センター開館 (市民活動支援センター含む)						★
商工会等	市民活動支援センター移転					★	
	高架下施設改修工事					■	■
	商工会移転						★
	駄倉地区センター閉館					■	
	駄倉小学生クラブ閉所					■	
	商工会・駄倉地区センター解体						■
新図書館	図書館整備基本構想		■	■	■		
	図書館整備工事基本設計			■	■	■	
	図書館整備工事实施設計				■	■	■
	図書館整備工事					■	■
	図書館開館						★

予定として大まかなスケジュールを示していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりワークショップが延期となり、基本構想策定が予定より遅れています。そのため、改修工事・休館時期も遅れる見込みです。また、今後決定する改修内容や開設準備等の状況により、休館期間が延びる可能性があります。

※「狛江市民センター改修等基本方針（令和2年8月）」に記載したスケジュール（予定）